



冬道の運転

冬は、積雪などの影響によりスリップ事故が多発します。冬道の運転は、次の事に気をつけましょう。



● 『急』のつく運転はやめましょう

急ブレーキ、急ハンドル、急発進、急加速などは、スリップ事故の原因となります。ブレーキ、アクセル、ハンドル操作はゆっくり行いましょう。

● 速度や車間距離に注意しましょう

積雪・凍結時はいつもより速度を落とし、車間距離も長めにとりましょう

● 夜間・早朝の走行は特に注意しましょう

夜間の冷え込みにより路面が滑りやすくなる為、夜間・早朝の運転は特に注意しましょう。

● 歩行者に注意しましょう

積雪時には歩道に雪があり、歩道を歩けない歩行者が車道を歩いていることがあります。歩行者が車道を歩いているかもしれないという気持ちで運転しましょう。

● 吹雪で視界が悪い時は…

ハイビームでは雪が乱反射して視界が悪くなる場合があります。視界が悪い時はロービームにして走行しましょう。

交通死亡事故の発生について

本年県内1件目



1月6日(金) 午前1時49分ごろ

松江市西川津町地内

軽四輪乗用自動車(46歳女性運転)×歩行者(59歳女性死亡)

ドライバーの方は

- ・道路状況に応じた安全な速度の励行と前方注視の徹底
- ・早めのライト点灯とハイビームの有効活用に努めましょう。

歩行者の方は

- ・道路横断時の横断歩道の利用と確実な安全確認
- ・夕暮れ・夜間や早朝の外出時における反射材の着用に努めましょう。

交通事故の発生状況

令和4年12月末日現在(速報値)

※()内は前年同期比

		発生件数	死者数	負傷者数
島根県内		766件(-8)	16人(+6)	835人(-33)
松江市内	松江署管内 (高速道路を除く)	290件(-5)	2人(±0)	316人(-7)

～交通事故防止しじみ運動の推進～

運転者は

「しっかり・じっくり・みて運転」

歩行者は

「しっかり・じっくり・みて横断」

反射材や早めのライト点灯で

「しっかり・じぶんを・みせる」

高齢者は子どもの見本に

「シニアは・ジュニアの・みほん」

しじみ通信は、県警ホームページ内の松江署のページからも、閲覧できます。

